

酷暑の夏が過ぎ、爽やかな季節になってきました。この時期の子どもたちの成長には驚かされます。食欲も増え身体もひと回り大きく、たくましくなったようです。

さて、今年度は、どの地域の保育園も新型コロナウィルス感染症の対策に追われ、大変なのではないのでしょうか。北埼玉は、東京に近いこともあり、感染者情報に敏感にならざるを得ない状況です。昨年の10月には、第3回合同リズム（お泊り）をしましたが、今年は一度も取り組めていません。しかし、担任の”他園との交流がしたい！”との熱い思いを受け、園長会で議論を重ね、第1回目の合同リズムを行うことを決めました。

体調管理、消毒はもちろんのこと、密にならないこと、会場園に迷惑をかけないことを確認し合い、会場を2つに分け（第2さくら・さくらんぼ）、園舎には極力入らないように園庭でリズムをしました。当日は天気にも恵まれ、子どもたち147名（参加園9園）は、仲間との交流に瞳を輝かせていました。

*残念なことに、2園はコロナ対策のため欠席でした。



～合同リズムを終えて担任に意見を聞きました～

＜担任の想いや学び＞

- ・自分の園だけでは得られない緊張感を、大人も子どもたちも感じられたことが本当に良かった。
- ・他園の保育士と子どもの関わりを見て、自分は手出しや口出しが多いと反省させられた。
- ・緊張感のあるリズムをして、大人も子どもも”もっと素敵になりたい！”という思いが強くなった。
- ・誕生月順の”かけっこ”の時、胸を張って向かっていく姿に感動した。
- ・今年は合同リズムが全くできていないので、”この1回”を大切にしたいと感じた。
- ・”リズムをしたくない”という子どもに焦りは感じたが、他園でもそのような子がいて、大人の寄り添う姿や、気持ち大切にすることを学ぶことができた。
- ・大勢で歌う心地よさを体験することができた。

＜子どもたちの姿＞

- ・どの子も”はじめてのこと”に挑戦する良い機会になった。またやりたい！という言葉が聞かれた。
- ・園内ではいつも1番の子もが、かけっこで他園の子に負けて悔しい思いをしていたが、自分より速い子がいたことがわかり、良い刺激になった。
- ・男性保育士のスピードに圧倒され、憧れを持つようになった。

- ・他園で遊べたこと、色んな動物を発見したこと、同じリズムや歌を他園の友達と楽しむことができたことに嬉しそうだった。
- ・力を出し切った子どもたちは、充実した顔で園に帰り、他の保育士に体験を話し絵に描いていた。

＜リズム・うた・人数など＞

- ・半分に分かれたことで、目が行き届き、待ち時間も少なく、密にもならず、良かった。
- ・園児同士の交流がもっとしたかった。（密になるので無理ですね）
- ・天気も良く、広い園庭で解放感があり、気持ちよかった。
- ・基本のリズムを大切にしたい構成に、改めて基本の大切さを確認した。

★ 第2回合同リズム 期日：11月26日（木） 時間：9：00～12：00 会場：深谷市総合体育館（ピクタートル）メインアリーナ

コロナ対策で欠席した 「くわの実保育園」編

「あと何回寝たら深谷に行くんだよね！」と初めての交流リズムを楽しみにしていた20人の子どもたち。しかし、前日の夜遅くになって園児関係者のコロナウィルス陽性確認により不参加を決めました。当日の朝、お弁当持参でいつもよりも早くに保育園に集合してきた子どもたち。『いざ！深谷へ！！』と準備万端の子どもたちに「今日はね…」と合同リズムには行けないことを話すと、『いまさら何を言っているんだ！！』とばかりに20人の顔が向けられました。「だから、今からバスに乗ってミューズパークへいきます」と、、いつもなら大喜びのはずが、そうではない子どもたちの反応に『子どもたちは姉妹園の同じ歳の子どもたちとの交流を楽しみにしていたんだなあ』と痛感しました。でも子どもたちは、バスに乗り込んだ時には気持ちを切り替え、担任と出かけていきました。

子どもたちの行き先は丘陵の上にある秩父市街が見渡せる広々とした公園です。どんぐりや木の実、虫、キノコを探したり、採ったり、色づく葉っぱを楽しみながら広い芝生の上を走ったり、側転、縄跳びなど思いっきり動き回りました。

「楽しかった！」と満足そうな顔で帰園してきた子どもたちの様子にホッとしました。（年長担任）



感染対策をして取り組んだ運動会 「たんぽぽ保育園」編

10月17日（土）が雨のため、18日（日）に開催しました。

保護者には、各家庭2名の入場制限、検温、消毒、マスク着用のお願いをし、時間短縮をして、午前中だけの開催としました。

子どもたちは、心地よい緊張をしながら、リズムや競技を楽しみました。私たちは、子どもたちの頑張る姿にたくさん感動をもらいました。そして、コロナウィルスに負けない心と体を作っていきたい！と強く思いました。

